

▼ブ리카ニール錠 [内]

【重要度】★ 【一般製剤名】テルブタリン硫酸塩 terbutaline sulfate 【分類】気管支拡張剤 [β2 刺激剤]

【単位】▼2mg/錠

【常用量】■成人：12mg/日■小児：3～6mg/日

【用法】1日3回

【透析患者への投与方法】設定されていない (1) 【その他の報告】7 μg/kg を皮下注 (17) 【PD】データがなく、できれば避ける (17) 【CRRT】経口投与は避ける (17)

【保存期 CKD 患者への投与方法】設定されていない (1) 【その他の報告】GFR 10～50mL/min：50%に減量, GFR 10mL/min 未満：データがなく、できれば避ける (17) 腎機能低下の影響を受けるが, GFR 低下度よりは低下しない (Bastiansen A, et al: Eur J Clin Pharmacol 69: 1951-1954, 2013) 皮下注を連続して使用する際には減量するか, データが少ないので他剤を選択する (5)

【特徴】アドレナリンβ2 選択的刺激性作用を有する気管支拡張薬。

【主な副作用・毒性】アナフィラキシー, 過敏症, 低K血症, 頻脈, 動悸, 不整脈, 手指の振戦, めまい, ふらつき, 消化器症状など

【吸収】70%が初回通過効果を受ける (17)

【F】経口では30%以下と思われる (5)

【tmax】2～4hr [tab] (1) 30min [sc] (1)

【代謝】硫酸結合を受ける (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率 7.3% [po, 72hr まで] (1) 尿中回収率 40%で大部分が硫酸結合体 [po, 72hr まで] (1) 尿中回収率 90%でその 2/3 は未変化体 [sc] (1)

【CL】腎機能正常者：2.23～3mL/min/kg, Cr 30mL/min 未満：1.72±0.49mL/min/kg [iv] (Bastiansen A, et al: Eur J Clin Pharmacol 69: 1951-4, 2013) 腎 CL/全身 CL=15% (Bastiansen A, et al: Eur J Clin Pharmacol 69: 1951-1954, 2013)

【t1/2】3.4hr (1) 3.6hr [sc] (1)

【蛋白結合率】資料なし (1)

【Vd】資料なし (1) 腎障害患者で0.74±0.22L/kg [iv] (Bastiansen A, et al: Eur J Clin Pharmacol 69: 1951-1954, 2013)

【MW】548.65

【透析性】資料なし (1)

【O/W 係数】資料なし (1)

【更新日】20200909

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。